

令和2年度

# 学校評価アンケート資料

《教員・生徒・保護者》



**大阪商業大学高等学校**  
Osaka University of Commerce High School

学校評価委員会

令和2年度 『学校評価』 アンケート結果

(資料) 学校評価アンケート内容

※教員・生徒・保護者で表現が若干異なりますが(主語の違い)、内容は下記となります

1. 学校の雰囲気がよい ----- <高校生活全体>
2. あいさつに溢れる学校である ----- <高校生活全体>
3. 自分のクラスが楽しいと感じている ----- <高校生活全体>
4. コースの取り組みには満足している ----- <高校生活全体>
5. 多様な資格取得ができるのでよい ----- <高校生活全体>
6. 本校の教員は教育熱心である ----- <高校生活全体>
7. 授業がわかりやすいと感じている ----- <学習>
8. 授業を意欲的に取り組んでいる ----- <学習>
9. 授業・模擬試験が進路に対応している ----- <進路指導>
10. 進路に必要な情報は適切に提供されている ----- <進路指導>
11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている ----- <生活指導>
12. 生徒に対する学校の規則は妥当である ----- <生活指導>
13. 生徒は学校の規則を守っている ----- <生活指導>
14. 生徒は生活指導について納得している ----- <生活指導>
15. 授業のベル着は守っている ----- <生活指導>
16. 学校行事は楽しく充実している ----- <行事>
17. 部活動は活発で充実している ----- <行事>
18. 校内の施設設備はよく整備されている ----- <その他>
19. 入学してよかった ----- <その他>
20. 休校中の課題について適切な量・内容だった ----- \*コロナ対応
21. 休校中の連絡(谷学ネット・HP)はよく伝わった ----- \*コロナ対応
22. 休校中スタディサプリを用いて学習できた ----- <ICT関連>
23. 休校中スタディサプリを用いて連絡を活用できた ----- <ICT関連>
24. 今後、休校時に備えてオンライン授業を活用すべきである ----- <ICT関連>

令和2年度 学校評価 資料

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

1. 学校の雰囲気がよい					1. 学校の雰囲気がよい				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	31/34	41/38	18/17	9/11	保護者	31/31	57/57	8/11	3/2
第1学年	36/32	38/42	16/20	10/6	教員	31/19	39/52	22/23	8/6
第2学年	22/19	42/41	22/24	13/16	生徒(男)	37/38	39/38	15/16	9/8
第3学年	36/49	43/34	16/11	5/6	生徒(女)	16/26	48/42	25/23	10/9

2. あいさつに溢れる学校である					2. あいさつに溢れる学校である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	37/45	37/39	18/11	8/5	保護者	39/44	48/45	10/10	3/2
第1学年	44/44	31/40	20/11	5/5	教員	18/6	42/69	30/22	10/3
第2学年	32/32	43/48	14/14	11/6	生徒(男)	41/47	36/39	16/10	7/4
第3学年	35/53	38/32	20/10	7/5	生徒(女)	27/36	42/40	23/16	9/8

3. 自分のクラスが楽しいと感じている					3. (生徒は) 自分のクラスが楽しいと感じている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	51/51	34/37	10/8	5/4	保護者	48/38	40/44	9/15	3/4
第1学年	61/52	23/36	10/9	5/3	教員	16/15	75/68	9/17	0/0
第2学年	44/45	39/43	12/8	5/4	生徒(男)	54/54	33/36	9/7	4/3
第3学年	48/55	38/33	8/7	5/5	生徒(女)	46/45	36/37	13/13	7/5

4. コースの取り組みには満足している					4. コースの取り組みには満足している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	41/49	39/39	15/9	5/3	保護者	42/33	45/50	11/14	2/3
第1学年	51/49	31/43	13/6	4/2	教員	13/8	49/44	26/38	12/10
第2学年	38/39	42/47	14/12	6/2	生徒(男)	44/49	39/40	13/9	5/2
第3学年	34/56	43/32	17/8	6/4	生徒(女)	35/48	38/40	21/9	6/3

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない

5. 多様な資格取得ができるのでよい					5. 多様な資格取得ができるのでよい				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	36/40	40/39	16/15	7/6	保護者	26/31	48/53	21/13	5/3
第1学年	39/38	35/43	18/14	7/6	教員	22/28	51/52	25/15	1/5
第2学年	32/32	42/42	17/20	9/6	生徒(男)	37/41	40/39	16/15	7/5
第3学年	36/49	44/33	14/12	6/6	生徒(女)	34/40	42/41	18/15	6/4

6. 本校の教員は教育熱心である					6. 本校の教員は教育熱心である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	39/38	42/43	15/14	5/5	保護者	38/14	51/55	9/28	2/4
第1学年	48/36	37/46	12/13	4/5	教員	31/15	51/69	16/14	3/2
第2学年	34/31	43/41	17/22	6/6	生徒(男)	42/41	41/42	12/13	5/4
第3学年	35/46	45/40	16/10	4/4	生徒(女)	29/31	44/46	22/17	5/6

7. 授業がわかりやすいと感じている					7. 授業がわかりやすいと感じている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	32/27	46/45	17/21	5/6	保護者	23/32	61/46	13/17	2/4
第1学年	42/22	41/52	13/22	3/4	教員	17/13	68/57	14/24	1/6
第2学年	26/19	49/46	18/27	7/8	生徒(男)	36/30	43/46	16/19	5/5
第3学年	30/39	47/40	19/16	4/5	生徒(女)	24/22	54/46	18/27	4/5

8. 授業を意欲的に取り組んでいる					8. (生徒は) 授業を意欲的に取り組んでいる				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	30/36	41/44	21/16	8/4	保護者	24/24	51/48	20/22	5/6
第1学年	35/38	41/46	18/14	5/2	教員	6/2	39/41	47/43	8/14
第2学年	27/21	42/49	24/24	7/6	生徒(男)	32/37	39/45	20/15	8/3
第3学年	28/44	40/41	22/12	10/3	生徒(女)	24/32	45/46	25/18	6/4

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

9. 授業・模擬試験が進路に対応している					9. 授業・模擬試験が進路に対応している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	36/37	40/40	17/16	7/7	保護者	23/27	58/55	16/13	3/5
第1学年	46/36	36/46	12/15	6/3	教員	14/13	50/46	29/31	7/10
第2学年	29/23	45/44	18/23	7/10	生徒(男)	38/40	39/40	15/15	7/5
第3学年	32/49	38/34	21/12	8/5	生徒(女)	29/32	42/42	22/19	7/7

10. 進路に必要な情報は適切に提供されている					10. 進路に必要な情報は適切に提供されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	42/44	43/43	12/9	4/4	保護者	31/30	57/53	10/13	2/3
第1学年	48/44	37/45	12/9	4/2	教員	22/24	61/55	13/16	4/5
第2学年	36/30	47/50	14/14	3/6	生徒(男)	44/37	42/35	10/16	4/12
第3学年	41/57	44/34	10/7	4/2	生徒(女)	36/25	46/35	16/23	2/17

11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている					11. 先生は悩みを親身になって聞いてくれている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	33/36	44/45	15/13	7/6	保護者	28/30	56/53	14/13	2/3
第1学年	40/31	40/47	13/17	7/5	教員	34/24	56/69	9/7	1/0
第2学年	25/27	44/50	21/15	10/8	生徒(男)	35/38	44/44	14/13	7/5
第3学年	35/48	48/38	13/10	4/4	生徒(女)	31/31	44/48	20/14	6/7

12. 生徒に対する学校の規則は妥当である					12. 生徒に対する学校の規則は妥当である				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	31/33	35/33	21/18	13/16	保護者	33/55	55/36	9/7	3/2
第1学年	39/32	35/41	17/17	10/10	教員	31/24	49/55	13/16	6/5
第2学年	26/18	35/32	24/24	15/26	生徒(男)	34/37	35/35	19/16	12/12
第3学年	27/47	36/32	21/14	15/7	生徒(女)	23/25	36/35	25/23	15/17

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない

13. 生徒は学校の規則を守っている					13. 生徒は学校の規則を守っている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	39/60	33/33	19/5	9/2	保護者	51/28	40/52	7/15	2/5
第1学年	49/66	32/28	12/4	7/2	教員	4/2	39/34	36/47	21/17
第2学年	35/53	28/36	25/9	12/2	生徒(男)	43/64	31/31	17/4	8/1
第3学年	33/60	40/35	19/4	8/1	生徒(女)	29/51	38/37	22/9	11/3

14. 生徒は生活指導について納得している					14. 生徒は生活指導について納得している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	31/31	34/35	20/17	15/17	保護者	36/20	49/53	11/22	4/5
第1学年	37/31	32/39	18/16	13/14	教員	14/10	48/47	32/37	5/6
第2学年	27/20	35/32	21/24	17/24	生徒(男)	34/35	35/36	17/16	13/13
第3学年	29/41	35/34	20/15	15/10	生徒(女)	24/24	30/34	26/21	20/21

15. ベル着を守っている					15. ベル着を守っている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	42/63	32/30	18/5	8/2	保護者	----	----	----	----
第1学年	52/69	30/26	13/3	5/2	教員	10/13	62/43	17/36	10/9
第2学年	39/59	28/32	22/7	10/2	生徒(男)	43/65	32/29	17/5	8/1
第3学年	35/60	38/34	19/5	8/1	生徒(女)	38/59	33/34	21/5	8/2

16. 学校行事は楽しく充実している					16. 学校行事は楽しく充実している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	36/37	35/35	19/18	11/10	保護者	28/28	48/50	17/16	7/5
第1学年	55/36	28/34	11/21	6/9	教員	16/23	47/54	32/17	5/6
第2学年	26/23	38/39	23/23	12/15	生徒(男)	39/39	35/36	17/17	9/8
第3学年	36/49	45/34	13/12	6/5	生徒(女)	26/33	35/33	24/22	15/12

学校評価（生徒学年別）数字は% <u>今年/昨年</u>	学校評価（三者比較）数字は% <u>今年/昨年</u>
------------------------------	-----------------------------

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

17. 部活動は活発で充実している					17. 部活動は活発で充実している				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	43/45	37/35	12/11	8/9	保護者	37/38	45/42	14/14	4/6
第1学年	55/46	25/34	10/10	9/10	教員	42/40	41/44	14/13	3/3
第2学年	37/27	42/40	12/20	9/13	生徒(男)	45/47	37/34	10/12	8/7
第3学年	36/55	45/33	13/7	6/5	生徒(女)	38/40	39/40	15/11	8/9

18. 校内の施設設備はよく整備されている					18. 校内の施設設備はよく整備されている				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	23/24	27/30	25/25	25/21	保護者	21/22	50/51	19/19	9/8
第1学年	29/18	27/30	21/25	23/27	教員	13/15	23/19	35/35	29/31
第2学年	17/13	25/29	26/34	32/24	生徒(男)	25/25	26/32	22/25	26/18
第3学年	22/36	30/29	28/16	20/19	生徒(女)	16/21	30/27	34/27	20/25

19. 入学してよかった					19. (生徒は)入学して(させて)よかった				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	30/33	41/42	18/18	11/8	保護者	45/30	43/50	10/16	2/4
第1学年	35/28	34/43	17/19	13/9	教員	19/11	62/51	18/29	0/10
第2学年	19/18	43/47	24/26	14/9	生徒(男)	32/34	40/43	17/17	11/6
第3学年	35/48	45/36	14/10	6/7	生徒(女)	24/29	44/40	20/21	13/10

20. 休校中の課題は適切な量・内容だった					20. 休校中の課題は適切な量・内容だった				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	29/---	31/---	19/---	20/---	保護者	24/---	50/---	19/---	7/---
第1学年	29/---	25/---	23/---	23/---	教員	26/---	55/---	14/---	5/---
第2学年	26/---	30/---	19/---	25/---	生徒(男)	30/---	32/---	17/---	21/---
第3学年	33/---	38/---	15/---	13/---	生徒(女)	27/---	30/---	25/---	18/---

21. 休校中の連絡(谷学ネット・HP)はよく伝わった					21. 休校中の連絡(谷学ネット・HP)はよく伝わった				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	34/---	36/---	18/---	12/---	保護者	35/---	49/---	13/---	3/---
第1学年	38/---	31/---	17/---	13/---	教員	39/---	53/---	7/---	1/---
第2学年	33/---	35/---	20/---	11/---	生徒(男)	34/---	36/---	17/---	13/---
第3学年	32/---	40/---	17/---	10/---	生徒(女)	35/---	34/---	23/---	8/---

22. 休校中スタディサプリを用いて学習できた					22. (休校中生徒は)スタディサプリを用いて学習できた				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	29/---	32/---	22/---	17/---	保護者	21/---	45/---	27/---	7/---
第1学年	35/---	27/---	21/---	17/---	教員	14/---	46/---	31/---	8/---
第2学年	24/---	32/---	24/---	20/---	生徒(男)	29/---	32/---	21/---	18/---
第3学年	28/---	39/---	19/---	13/---	生徒(女)	29/---	34/---	23/---	15/---

23. 休校中スタディサプリを用いて連絡活用できた					23. 休校中スタディサプリを用いて連絡活用できた				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	36/---	34/---	18/---	12/---	保護者	27/---	48/---	20/---	5/---
第1学年	43/---	30/---	16/---	11/---	教員	24/---	53/---	17/---	7/---
第2学年	35/---	32/---	20/---	14/---	生徒(男)	36/---	33/---	19/---	13/---
第3学年	31/---	39/---	20/---	10/---	生徒(女)	38/---	35/---	18/---	9/---

24. 今後、オンライン授業を充実させるべきである					24. 今後、オンライン授業を充実させるべきである				
	①	②	③	④		①	②	③	④
全学年	44/---	25/---	14/---	17/---	保護者	48/---	37/---	10/---	4/---
第1学年	43/---	21/---	13/---	22/---	教員	45/---	39/---	9/---	7/---
第2学年	43/---	25/---	15/---	17/---	生徒(男)	48/---	24/---	12/---	16/---
第3学年	45/---	30/---	13/---	12/---	生徒(女)	33/---	28/---	19/---	20/---

## 令和2年度 「学校評価」 アンケート結果 考察

### ★★高校生活全般について★★（Q1-6）

「**学校の雰囲気について**」の質問に対して、保護者は約90%が肯定的な回答であるが、教員が約30%、生徒、特に女子生徒の30%以上が否定的な数値となっている。教員についてはコロナ禍による経験したことのない長期休校や様々な制限などが要因の一つと考えられる。また、女子生徒が過ごしやすい環境作りは共学化以来の継続している課題となっており、検証し改善する必要がある。

「**あいさつに溢れる学校**」については、保護者は肯定的意見が多くを占めているものの、教員では40%が否定的意見となっている。クラブ員を中心とした校内での挨拶習慣がある程度定着していると評価できるが、さらに挨拶励行のキャンペーンなど学校全体としての取り組みを行っていく必要がある。生徒からの一方的な取り組みだけではなく、大人（教職員）から挨拶励行を継続することが重要である。学校生活の根幹となっている「**クラス活動**」については、各学年ともに約85%が肯定的な回答が出されていることは評価できる。今年度は予定されていた学校行事が例年通りに行うことができなかつたにも関わらず、日々の学習活動やクラス活動の充実がこの結果に繋がったと言えよう。今後も生徒たちと学級担任とともにクラス活動を豊かなものにする努力を行っていくことが必要である。

「**コースの取り組み**」について、例年通り生徒は概ね肯定的な回答であるが、教職員は否定的数値が高くなっている。ただ何となく、各コースで用意されたカリキュラムを消化していくのではなく、コースのコンセプト、到達目標を今一度明確にして、向かうべきベクトルを示していくことが大切である。各コースで今後『探究的な学習』においてさらにコースコンセプトを追及していく予定である。

「**資格取得の多様性**」は生徒、保護者、教職員ともに肯定的数値が多く出ている。ただ、各種検定の合格率は必ずしも上昇しているとは言えないのが現状である。各種検定への合格率の向上が、さらに肯定的なベクトルとなっていく。資格取得をメインに掲げているグローバル商大コースの充実にも繋がる項目であるので、教科のみでなく、学年の枠を超えて学校全体で考え、盛り上げていくことが急務である。また1年次から目標を設定し継続的にモチベーションを持たせることも必要である。

「**教員の教育熱心さ**」については、生徒からは80%程度の肯定的な回答が出ており、保護者の意見も約90%が肯定的な意見となっている。ICT等を駆使した生徒への指導だけでなく、電話や面談などのアナログ的な取り組みが必要な側面であり、その点において各教員が努力した結果であると思われる。

### ★★学習について★★（Q7-8）

「**授業のわかりやすさ**」について、生徒間で各学年ともに約80%の肯定的な回答となった。大人（教員・保護者）においてもほぼ同じような結果となっている。今年度は「授業が解りにくい」等の意見は少なかったと思われるが、クラスによっては「(科目によって)授業中騒がしい場合がある」との声も聞いている。授業が学習活動の根幹であるがゆえに、生徒が授業中集中して知識を高めていく機会を与えていくことが学校として当然の姿である。今後、教科を中心として、わかりやすく、学んでいきやすい環境を創造していくことを行っていきたい。そのために、公開授業や授業アンケートを有効活用、教科内での勉強会の充実による教授法の向上、大学共通テスト等への対応を行い、生徒参加型の授業研究などが望まれる。

「**授業への意欲的な取り組み**」は例年通り、生徒・保護者と比較して、教員の意見が厳しいものとなっている。特にコースによっては、3年生の2学期以降の授業へのモチベーションの低下が大きな原因となっていると思われる。1～2年生においても検定期や定期試験前だけでなく、継続した授業への積極的意欲的参加が、知識の向上につながることを訴え、3カ年で学力的な成長を目標にすることが必要である。生徒の授業に対するモチベーションの向上への仕掛けは教員の工夫が一番有効である。学習の楽しさ、知識をつけることの充実感など、生徒の気付きを教員側が行っていくことが必要である。

## ★★進路指導について★★（Q9-10）

「授業・模擬試験の進路への対応」について、生徒の回答は肯定的なものが中心ではあるが、教員の回答はまだ否定的なものが多い。進路の合否だけでなく、真の学力をつけられたかどうか検証していく必要がある。そのために模試・学力テストなどのデータ分析、そしてそのデータの共有、教科へのフィードバック、改善策の検討、実施というサイクルが常に必要である。それらの作業が充実すれば、生徒・教員双方ともに肯定的回答が増加すると思われる。近年、スタディサプリを用いての学習および確認テストを実施しており、リンクさせている。このサイクルをさらに充実させれば肯定的回答がさらに上昇すると思われる。「進路情報の提供」については、進路指導部を中心に、進路ガイダンスや将来を考えさせる機会を提供しており、概ね肯定的な回答を得ている。今年度は大学入試改革初年度に加え、コロナ禍による入試変更などもあった。引き続き正確な情報をタイムリーに提供する必要がある。

## ★★生活指導について★★（Q11-15）

「教員は悩みを親身になって聞いてくれる」は三者（生徒・保護者・教員）ともに例年通り、肯定的回答が大部分を占めた。学校方針でもある、日ごろのきめ細やかな教育活動の成果であると評価できる。

「学校の規則の妥当性」については、生徒間においては、否定的意見が30%を超えている。特に女子生徒での否定的割合が依然高く（約40%）、なぜ校則が必要なのか、粘り強く説いていくことが必要である。「生徒が規則を守っている」は例年と同じく、生徒の数値と教員の数値に大きな差が生じている。多くの生徒が校則を守っているが、一部の校則を守っていない生徒に対する指導に多くの労力を費やしていることと、規則の解釈の差異もあるかもしれない。『指導する』側（教員）と『指導される』側（生徒）の立場の違いはあるが、その数値を近づけていくために、なぜ校則があるのか、校則を遵守することがなぜ大切なのかを繰り返し説いていくことが必要である。「生徒は生活指導に納得している」については、生徒間においては、肯定的意見が65%、否定的意見が35%となっている。昨年度とほぼ変わらない結果となった。スマホ・ケイタイのルールなど変更があったことも要因の一つと言えよう。「ベル着を守っている」について、例年通り生徒は概ね肯定的な回答であるが、教員の数値も肯定的回答が増えてきた。「50分間しっかり授業を行う（受ける）」「授業第一」の意識が徐々にではあるが、定着してきた結果だと思われる。

## ★★高校生活全般・行事・その他について★★（Q16-19）

「学校行事」について、肯定的回答が多数を占めているが、2年生の35%が否定的意見となっている。コロナ禍による各種学校行事の中止や変更が余儀なくされ、特に2年生は修学旅行が実施されない結果となった。このことが大きな要因であると考えられる。「部活動」についても、肯定的回答が多数を占めている。ただし、活動施設の問題については多くの意見が寄せられているのが現状であるので、環境整備が肯定的結果へとつながっていくのではないかとと思われる。

「校内施設設備」については、否定的意見が他の項目よりも多い。ただし、トイレのリフォーム、ICT教室の設置など校内施設改善が計画的に進められている。現存の施設の有効的使用および生徒の美化意識向上も継続して必要である。

「入学して（させて）よかった」については、概ね肯定的意見が多数を占めている。2年生が否定的回答が多く、学校行事で前述した学校行事の問題（修学旅行の中止）も要因の一つであると思われる。それに加え中間学年が故のモチベーション低下も考えられる。各学年に対して学校生活へのモチベーション向上への取り組みが必要である。本校の募集活動にもリンクしていくことになるので、全教職員で取り組んでいく。

★★休校中の課題や連絡方法、ICTについて★★(Q20-24) ※今年度独自のアンケート  
「課題の量・内容」について、(教員にとっても初めての経験であるため) どのような内容の家庭学習を課すか十分に教科間で調整できなかったことも事実である。特定の学年・コースの生徒にとってその量が負担に感じたかもしれない。スタディサプリでの学習についても個人差はあるものの、平均的な数値よりも取り組みがよかったとの分析がされている。「休校中の連絡方法」について、『谷学ネット』『ホームページ』『スタディサプリ』を用いて行った。回答についてもほぼ肯定的数値が多数を占めている。特にスタディサプリは未読者がわかるシステムなので、担任による電話連絡なども行い、情報を行き渡らせることができたのではないかと思われる。次年度から新しいシステム(『さくら連絡網』)を採用する予定であり、研究を重ね、有効利用したい。

「オンライン授業の充実」については、強い肯定的意見が大半を占めている。GIGA スクール構想などに向けて当然教育機関として充実させる必要があり、今後も、施設改善も含め、研究を続けていく。ただし、対面式授業の充実、生徒一人ひとりへの対話、保護者に対してきめ細やかに対応する、など以前から重視してきた取り組みを第一義に置くことを忘れず、取り組んでいく。